

# 国立近代美術館

## 上映映画解説

No. 4

1953 4.1

### フィルム・ライブラリーについて

前世紀末、映画がわれわれの前に現われてから今日まで僅か六十年足らずであります。その発展の跡はまことに目ざましいもので、そこに残された名作の数々は二十世紀世界文化の貴重な縮図であるといつてもいいすぎではありません。しかし貴重な文化財である映画も、多くの場合、商品としてあつかわれ、一定期間の興行を終えたと、われわれの前から姿を消し、その保存とか後日の活用とかいうことについては格別の考慮も払われないのが常でありました。

国立近代美術館では、設立以来同館内に定員約百名の映写室をもつ、フィルム・ライブラリーを設け、内外古今の優秀映画の収集保存ならびにその活用について努力いたしております。

今月は、美術映画を主として、次の映画を毎日上映いたします。

### あげはちよう

昭和二十四年度文部大臣賞受賞作品  
日本映画社製作

製作 石 本 統 吉  
演出 太 田 仁 吉  
撮影 鈴 木 喜 代 治

春から秋へかけて、私達は沢山の昆虫を見かけますが、花から花へと蜜を求めてとび廻る蝶の美しい姿に特に目をひかれます。

この映画は、その蝶のうち際立つて美しくて立派な「あげはちよう」を取り上げて、産卵から成虫になるまでの一ヶ月間に、五回も脱皮する有様や、さなぎから蝶への変わり方などを細かく観察し、産卵—孵化—幼虫—さなぎ—成虫と移り変わる蝶の一生と生態を科学的に、美しく描いて見せます。(二巻)

### モーゼスおばあさん Grandma Moses

アメリカのニューヨーク州に「モーゼスおばあさん」の呼び名で知られたアンナ・マリー・ロバートソン・モーゼスという、一八六〇年生れのおばあさんが住んでいます。一農家に生れた彼女は、農家の主婦として平凡な生活を送りながら、絵筆に親しんで来ました。彼女にとつては絵を描くということは、編物をしたり、炊事をしたりするのと同じく、別に特別の仕事ではありません。アトリエは寢室で、画架もカンバスもなく「メソナイト」という圧縮された木材に、白ペンキを三度塗つたものを用います。一見アンリ・ルソウを思わせる様な彼女の絵は、子供時代のイメージを知っている事など親しみのあるものばかりを描いていますが、彼女が八〇才になつて漸くその価値を認められ一九三九年には、ニューヨークの近代美術館で開かれた「現代無名画家展覧会」にも陳列されました。トルーマン大統領から贈られた賞をはじめ、沢山の賞を得て、このおばあさんの絵は、今ではヨーロッパをはじめ、いろいろ／＼な国に紹介されています。

この映画は、モーゼスおばあさんの生い立ちから日常の生活や、数々の作品、それに絵に描かれた美しい田園風景を見せてくれます。(天然色、一六ミリ)

### オーケストラの楽器

Instruments of the Orchestra

英国クラウン・フィルム・ユニット  
プロダクション作品

製作 アレキサンダー・シユウ  
監督 ミユウ・マチソン  
録音 ケン・キャメロン

世界有数のロンドン交響楽団の演奏で、標準的な二管編成の管弦楽を要領よく二〇分間に教え込もうという計画のもとに作製された映画です。

力強い総奏が始まり、やがて木管群、金管群、弦群打楽器群の合奏に移り、再び総奏で一段落します。次

いで個々の楽器を、木管—フルイート、ピッコロ、オIボエ、クラリネット、バスーン、弦—第一・第二バイオリン、ビオラ、チェロ、ダブルベースそれにハーブ金管—ティンパニ、太鼓、シムバル、タンバリン、トライアングル、サイドドラム、チャイニーズ・ブロック、木琴、カスターネット、ゴングの順に音色から演奏技功を紹介いたします。更にピッコロから始まつて総奏にまで高まり、終曲へと導かれます。

ベンジャミン・ブリッテン作曲の「青少年のための管弦楽入門」(バーセルの主題による変奏曲とフリーガ)も素晴らしいのですが、我が国では青少年は勿論のこと、専門家筋でも「管弦楽団員にも教えることが多々あり、指揮法の勉強にもなる」と好評を得ています。(二巻)

なお、フィルム・ライブラリー開設以来、上映した映画その他は次のとおりです。

- 一九五二年一月
  - 桃山美術(二巻)
  - ピカソ訪問(仏、二巻)
  - フランクリン・ワトキンズ(米、一六ミリ)
  - 一九五三年一月
  - 上代彫刻(二巻)
  - ボッテイチェリ(伊、一巻)
  - ミケランジェロ(伊、一巻)
  - アイルランド(英、天然色一巻)
  - 美術学生連盟(米、一六ミリ)
  - 同年二月
  - 中尊寺(一六ミリ)
  - シユテファン・ロッホナー(独、一六ミリ)
  - スコットランド(英、天然色一巻)
  - ロンドン(英、天然色一巻)
  - △文部省天然色幻燈画「泰西名画集」
- このほか、二月一日より四月中旬まで、毎週水曜日に、サイレント時代の代表作、ドイツ映画「ジークフリート」を上映しています。